

授業科目 地域福祉論 II

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	2	対象学科	社会	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		
◎		○		◎		
◎		○		○		
【概要・一般目標：GI0】 地域福祉実践の方法、内容、評価について理解する。 海外における地域福祉実践の動向について理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】 ソーシャル・サポート・ネットワークなどの地域福祉実践について把握する。 社会資源の内容と活用の方法について把握する。 地域福祉ニーズを把握する方法について理解する。 地域トータルケアシステムの実践について理解する。 地域福祉福祉サービスの評価方法について把握する。 地域福祉に関する海外の動向について理解する。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソーシャル・サポート・ネットワークの実践内容					講義による学習（以下、同じ）
2	コミュニティ・ワークとソーシャル・サポート					
3	社会資源の概要と開発					
4	福祉サービスの開発と活用					
5	質的な地域福祉ニーズの把握方法					
6	量的な地域福祉ニーズの把握方法					
7	地域トータルケアシステムの必要性と地域社会					
8	地域トータルケアシステムの展開方法					
9	地域福祉における利用者の保護					
10	地域福祉サービスの評価の考え方					
11	福祉サービスを評価する方法					
12	福祉サービスのプログラム評価					
13	イギリスの地域福祉の動向					
14	アメリカの地域福祉の動向					
15	まとめ					
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 新・社会福祉士養成講座9 地域 市川一宏、上野谷加代子、大橋謙作 中央法規出版 2015・2,808円 福祉の理論と方法				
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 期末試験またはレポートによる評価（80点）。 出席状況による評価（20点）。			【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること。			